

(様式)

## 成田市立玉造小学校

沿革(創立時より詳記・特に分離統廃合等)

昭和56年 4月 1日	成田市立吾妻小学校より分離。 成田市立玉造小学校と称し開校。 児童数 375名、11学級編成、職員数16名	平成20年 3月31日	特別支援教室増築工事完了
昭和56年 6月29日	プール竣工	平成20年 4月 1日	特別支援学級開設(知的) 11学級編成(チ1、ジ1)、職員数20名
昭和57年 2月22日	屋内運動場竣工	平成21年 4月 1日	放送設備工事、前庭整地 12学級編成(チ1、ジ1)、職員数21名
4月 1日	15学級編成、職員数21名	平成22年 4月 1日	屋外トイレ設置工事完了 13学級編成(チ1、ジ1)、職員数19名
昭和59年 4月 1日	22学級編成、職員数30名	平成23年 4月 1日	創立30周年記念事業実施 教室エアコン設置工事 14学級編成(チ1、ジ1)、職員数21名
昭和60年 4月 1日	本校より成田市立神宮寺小学校が分離開校 (児童数163名)	平成24年 4月 1日	東階段手摺り設置工事 体育館アリーナ照明改修工事 15学級編成(チ1、ジ2)、職員数22名
昭和61年 4月 1日	18学級編成、職員数24名	平成25年 4月 1日	15学級編成(チ1、ジ2)、職員数23名 通級指導教室開設
10月28日	教育放送利用研究公開研究会開催	平成26年 4月 1日	15学級編成(チ1、ジ2) 県費教職員数23名
昭和63年 4月 1日	19学級編成、職員数27名	平成27年 4月 1日	15学級編成(チ2、ジ1) 県費教職員数23名
8月31日	運動場観覧席完成	平成28年 4月 1日	14学級編成(チ1、ジ1) 県費教職員数21名 トイレ洋式化工事
平成元年 4月 1日	19学級編成、職員数28名	平成29年 4月 1日	14学級編成(チ1、ジ1) 県費教職員数25名 無線LAN工事、タブレット20台導入 パソコン40台・拡大プリンター1台入替
8月31日	運動場暗渠工事全面完了	平成30年 4月 1日	14学級編成(チ1、ジ1) 県費教職員数24名
平成 2年11月10日	創立10周年記念式典 前庭土手花壇完成	平成31年 4月 1日	14学級編成(チ2、ジ1) 県費教職員数22名
平成 3年 4月 1日	17学級編成、職員数26名 飼育小屋改築	令和 2年 4月 1日	13学級編成(チ2、ジ1) 県費教職員数22名 創立40周年記念事業実施
平成 5年 4月 1日	15学級編成、職員数23名 前庭わんぱく山作製	令和 3年 4月 1日	12学級編成(チ2、ジ1) 県費教職員数22名
平成 6年 4月 1日	14学級編成、職員数21名 シャワー設備設置	令和 4年 4月 1日	11学級編成(チ2、ジ1)、県費教職員数20名 長寿命化改修工事のため、前庭にプレハブ校舎を建設 12月にプレハブ校舎へ移転 1月より本校舎の工事開始
平成 9年 4月 1日	10学級編成、職員数15名 コンピュータ室設置、児童ルーム開設	令和 5年 4月 1日	9学級編成(チ2、ジ1)、県費教職員数16名
平成12年 4月 1日	7学級編成、職員数14名 創立20周年記念事業実施		
平成13年 4月 1日	7学級編成、職員数13名 体育館玄関スロープ設置		
平成14年 4月 1日	6学級編成、職員数13名 耐震補強工事		
平成15年 4月 1日	6学級編成、職員数14名 成田市学校IT教育推進校 運動場改修工事完了		
8月31日	6学級編成、職員数13名 成田市学校IT教育推進校		
平成16年 4月 1日	8学級編成(ジ1)、職員数15名 特別支援学級開設(情緒) プール塗装工事、体育館身障者用トイレ設置		
平成17年 4月 1日	8学級編成、職員数14名		
平成18年 4月 1日	10学級編成、職員数17名		
平成19年 4月 1日			

### 学区の特色

- ・成田ニュータウン玉造1丁目から4丁目と公津地区のうち八代と船形の一部をもって構成している。
- ・一戸建ての住宅地が中心であるが、3丁目に中層住宅がある。
- ・JR成田湯川駅の開設に伴い1丁目・2丁目の住宅建設が増加したため、学齢児童数も平成19年度から一時増加したが、最近は、減少傾向にあり、今年度は6学年全てが単学級となっている。
- ・保護者の教育への関心は高く、学校の教育活動に大変協力的である。学校評価アンケートの回収率も高い。
- ・青少年健全育成協議会や社会福祉協議会を中心とした地域活動に積極的に取り組んでいる。防犯パトロールの活動も定期的を実施している。
- ・学校支援地域本部があり、地域コーディネーターを中心として、ボランティア活動も盛んである。登下校の見守りや、様々な学習活動に地域の支援が得られる仕組みが整っている。
- ・今年度より、学校運営協議会を立ち上げ、学校、家庭、地域が連携し、よりよい学校づくりを目指し活動を進めているところである。